

選定の経過（最終まとめ）

花について

ツツジ、ササユリ、サザンカ、サクラ、ヒマワリ、ウメ、イワカガミの7点の候補の中から、ツツジ、ササユリの2点に絞り、最終的にツツジを選定した。

選定候補について（35種 134件）

応募順位	候補名	応募数	備考
1	ツツジ	24	旧丹波町制定
2	ササユリ	18	旧和知町制定
3	サザンカ	15	旧瑞穂町制定
4	サクラ	9	
5	ヒマワリ	7	
8	ウメ	4	
10	イワカガミ	3	

ツツジについての主な意見

（賛成意見）

- ・応募も多く、里や山に多くの種類が咲き、なじみがある。
- ・庭園や生垣をはじめ、街路樹や府立丹波自然運動公園など町内にも美しく咲く。
- ・厳しい冬を耐え春を告げる花。
- ・農作業が始まる頃に咲く花。
- ・一輪ずつ咲く花ではなく、小さい花がまとまって咲く花であり、協力し合い、美しい町として発展するイメージとしてふさわしい。
- ・ヤマツツジやミツバツツジなどの特定したツツジの名称を選定する方法もあるが、色々な種類が咲くことから、総称したツツジとする。（野生種で30種以上、園芸種で2,000種以上と言われている。）

（慎重意見）

- ・どこにでもある花という印象があり、京丹波町としての特殊性はない。

ササユリについての意見

（賛成意見）

- ・山の中にひっそりとやさしく咲く花であり、府内でも制定がなく京丹波町として特殊性がある。（篠山市、能勢町など全国的には制定多い）

（慎重意見）

- ・町全体としては、なじみがなく、手軽に育てられないのでPRしていくには難しい面がある。

木について

アカマツ、クリ、サクラ、イチョウ、モミジの5点の候補の中から、クリ、イチョウの2点に絞り、最終的にイチョウを選定した。

応募が多かったアカマツ、クリについては、マツタケ、クリの特産品からイメージされたものであり、現状からシンボルとしてふさわしいか検討した。

選定候補について（21種 132件）

応募順位	候補名	応募数	備考
1	アカマツ	50	旧丹波町、瑞穂町制定
2	クリ	39	旧和知町制定
3	サクラ	8	
4	イチョウ	6	
4	モミジ	6	

クリについての意見

（賛成意見）

- ・特産であるクリをイメージしての応募が多く、京丹波町のPRとして有効である。
- ・府内市町村でも制定がなく、全国的にも制定は珍しいのでPRに有効である。

（慎重意見）

- ・特産品のクリとして果実をイメージするが、「木」そのものはイメージしにくい。
- ・マツタケと同様、特産品の生産量が減少する中で、願望の意見がほとんどであり、特産品にこだわっての選定は疑問である。
- ・クリの木は短命であり、よく枯れるイメージ。

イチョウについての意見

（賛成意見）

- ・黄葉した姿はとてもきれいであり、良いイメージである。
- ・旧3町それぞれの公的な場所にも立派なイチョウが存在する。（旧和知第2小、グリーンランドみずほ、須知高）
- ・まっすぐで風水害に強く、長く栄えるイメージ。
- ・旧町で制定のなかった新しいイメージとしてふさわしい。
- ・府内市町村で制定がなくPRに有効である。

（慎重意見）

- ・イチョウの応募数が少ないので、理由付けが難しい。
- ・どこにでもある木という印象があり、京丹波町としての特殊性はない。

鳥について

ウグイス、キジ、シジュウカラ、メジロの4点の候補の中から、ウグイス、メジロの2点に絞り、最終的にウグイスを選定した。

選定候補について（18種 135件）

応募順位	候補名	応募数	備考
1	ウグイス	53	旧和知町制定
2	キジ	42	旧丹波町制定
3	シジュウカラ	7	旧瑞穂町制定
5	メジロ	4	

ウグイスについての意見

（賛成意見）

- ・子どもからお年寄りまで、「ホーホケキョ」の鳴き声は知っており、親しまれている。
- ・よく耳にする鳴き声の鳥を美しい自然のシンボルとしたい。

（慎重意見）

- ・鳴き声は良く耳にするがあまり姿は見られない。

メジロについての意見

（賛成意見）

- ・良く目にする美しい鳥。

（慎重意見）

- ・なじみという観点からはウグイスがふさわしい。